



SCB

# ニュース&トピックス

No.2024-148

(2025. 2. 21)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

## しずおか焼津信用金庫の「DX トライアル制度」について

### ポイント

- しずおか焼津信用金庫は2024年度に「DX トライアル制度」を導入した。
- 本制度の特徴は、年間総額1,000万円の予算枠内であれば、経営企画部長の決裁のみでITやDX関連のビジネスを試行できる点にある。これにより、役員会や理事長の決裁を必要とせず、通常の実議と同程度の手続きで申請が可能となり、システム試行のハードルが大幅に下がることが期待されている。
- 2024年度は本制度を活用して7件のプロジェクトを実施した。2025年度以降は、中期経営計画のKPIとして、プロジェクト実施件数を盛り込んだ。

### 1. 背景

しずおか焼津信用金庫(図表1)は、2024年度に「DX トライアル制度」を導入し、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向けた取組みを開始した。本制度は、事務効率化や営業力向上等に資する最新のIT技術やDX関連システムの導入を促進するためのものであり、特に費用対効果の算定が難しいとされる新技術の試行を支援する目的がある。

現代のビジネス環境では技術革新のスピードが加速している。また、人手不足対応も重要な経営課題となっており、成功の保証がない中でも積極的に新技術への投資を行う動きもみられる。同金庫では、このような背景を踏まえ、経営企画部が中心となって本制度を提案し、実現に至った。

(図表1) しずおか焼津信用金庫の概要(23年度末)

本店所在地	静岡県静岡市
預金残高	1兆8,305億円
貸出金残高	9,127億円
店舗数	62店舗
役員数	902人(嘱託職員を含む)

(備考) 図表1~3は信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

### 2. 制度内容

本制度(図表2)の特徴は、年間総額1,000万円の予算枠内であれば、経営企画部長の決裁のみでITやDX関連のビジネスを試行できる点にある。これにより、役員会や理事長の決裁を必要とせず、通常の実議と同程度の手続きで申請が可能となり、システム試行のハードルが大幅に下がることが期待されている。短期間で様々なサービスを「とりあえず試してみる」という趣旨から、内容について特段の制約は設けないものの、月額支払方式かつ利用終了が容易(例えば、数か月でやめられる等)であることが条件となる。予算を利用しない、無料トライアル利用なども本制度の枠組みにより申請を行う。

(図表 2) DX トライアル制度概要

募集期間	4月から翌年2月まで
対象部門	本部部門
予算枠	年間総額 1,000 万円 (複数件応募があった場合も、合計 1,000 万円まで)
主管部門	経営企画部
条件	内容面の制約は原則設けないが、以下の条件を満たしていること。 ① 月額支払方式であること ② 利用終了が容易(例:数か月でやめられる等)であること
決裁権限	経営企画部長
申請様式	通常稟議書類(協議書および稟議書)

### 3. 初年度実施プロジェクト

2024年度は、本制度を活用して7件のプロジェクト(図表3)を実施した。

(図表 3) 2024 年度実績

1	生成 AI の実証実験(プロジェクトチームを設置し、生成 AI 活用策を検討)
2	独自 e ラーニングシステム「たねココかすたねっと」構築
3	補助金クラウドの無料トライアル
4	サイト分析ツールの無料トライアル
5	しんきん direct のトライアル
6	オンライン登記情報システムのトライアル
7	チャットボットのトライアル

### 4. 評価等

#### (1) 初年度結果

実施プロジェクトのうち、「たねココかすたねっと」は、6か月間の試行導入を経て、2024年12月に正式導入に至った。そのほかのプロジェクトはトライアルを継続中または終了した。

#### (2) 今後の展望

同金庫は、来年度以降も本制度を継続し、中期経営計画の KPI として年間3件以上のプロジェクトを実施することを盛り込んだ。本制度を通じて、トライアンドエラーの雰囲気醸成するとともに、事務効率化や営業力向上等を実現し、組織全体の競争力を高めることを期待している。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。